

寒河江市振興審議会第三部会 経過

1 第1回部会の概要

| | |
|---|------------------------|
| 日 時 | 平成22年11月10日(水) 午後1時30分 |
| 場 所 | 寒河江市役所1階会議室 |
| 審議の概要 | |
| <p>(1) 部会長に大沼啓藏委員を、部会長代理に國井晴彦委員を選出</p> <p>(2) 事務局より、「いきいきと健やかに暮らすことのできる地域社会の創造」及び「新しい時代を切り拓く人づくり」のポイントについて説明</p> <p>(3) 委員の意見(質疑)の概要</p> <p>健康福祉について</p> <p>地域福祉計画策定等の取組状況はどうか。</p> <p>子どもたちの食生活の改善について、計画に明記してはどうか。</p> <p>心の健康についての相談体制を具体的に表してはどうか。</p> <p>子育てに関する不安や悩みに対する相談者については、専門知識を有する相談員とすべきではないか。</p> <p>学童クラブの開設にあたって必要な児童数の基準はどうか。</p> <p>子育て支援センターの設備については、0歳児など低年齢児が安心して遊べるスペースが必要ではないか。</p> <p>医療ネットワークについては、医師会との連携を図って進めることが必要ではないか。</p> <p>教育文化について</p> <p>市立図書館について、障がい者にも利用しやすい配慮、対策が必要ではないか。</p> <p>寒河江発のスポーツ大会を開催してはどうか。</p> <p>慈恩寺を親子で見学、学習するなど、子どもの学習を契機として親も参加できるものを考えてはどうか。</p> <p>食育の一環として、子どもたちに寒河江の伝統料理を作らせる取組みを進めてはどうか。</p> <p>「アスポーツさがえ」の教室、講座を充実させてはどうか。</p> | |

2 第2回部会の概要

| | |
|--|-----------------------|
| 日 時 | 平成22年11月26日(金)午後1時30分 |
| 場 所 | 寒河江市立図書館会議室 |
| 審議の概要 | |
| (1)事務局より、「いきいきと健やかに暮らすことのできる地域社会の創造」及び「新しい時代を切り拓く人づくり」の案について説明説明 | |
| (2)委員の意見(質疑)の概要 | |
| 健康福祉について | |
| 「生涯を通した福祉社会の形成」の主な事業が具体的でない。 | |
| 一人暮らし高齢者等の地域の見守りについて、公的な保健師が健康相談の巡回を通して、状況の把握に努めてはどうか。 | |
| 独居高齢者や認知症高齢者の安否確認と災害時の救援体制の確立が重要ではないか。 | |
| 生活習慣病予防のための健康体操の普及と健康診査受診体制の充実すべきではないか。 | |
| 高齢者の足の確保が重要ではないか。 | |
| 子育て支援として、医療費無料化の対象拡大や3歳未満児の保育施設の整備、民間医療機関等と連携した病児保育を実施してはどうか。 | |
| 子育て支援センターと児童センターが同一的に行われているので、きちんとした形で支援センターを位置づけし、託児、巡回などのサポートを一括し行える体制づくり、場所の確保を早急に実施すべきではないか。 | |
| 医療体制の整備については、地域医師会との連携を強化し夜間救急の協力体制の構築や関係自治体及び県病、山大などとの協議の場を設置し課題の検討をすることが重要ではないか。 | |
| 市立病院の整備については、「検討」に留まっており、位置付けや持つべき機能の方向性をもっと打ち出すべきではないか。 | |
| 市立病院において、小児科を開設する考えはないか。 | |
| 教育文化について | |
| 地域の歴史文化遺産である慈恩寺については、市内の全ての小学校で見学、学習するようにしてはどうか。 | |
| 地域や生産組合との連携による地産地消の推進が重要ではないか。 | |
| 慈恩寺の国史跡指定を契機として、本市の代表的文化財、史跡、社寺、芸術品を探訪する回遊ルートを創設、整備してはどうか。 | |